



水海道第一高等学校 硬式野球部



夏，開幕。 初戦，快勝！

水海道一13安打快勝



土浦三—水海道一 7回表水海道一1死二塁、岸本の中前打で二走根本敦が3点目の本塁を突く＝水戸市民、嘉成隆行撮影

▽水戸市民球場
▽2回戦＝第2試合
水海道一000020102 5
土浦三000100001 2
▽三塁打 寺田▽捕逸 平松2▽野選 寺田
▽試合時間 1時間57分▽審判 富規、円井、大足、竹内弘

水海道一	打	安	点	振	球
④	根本敦	4	1	0	0
⑥	海老原	4	3	0	0
②	岸本	4	2	2	0
③	文	4	2	2	0
⑤	古矢	5	5	3	1
⑦	渡中	5	5	3	1
⑧	長古	2	2	0	0
⑨	矢井	2	2	0	0
①	小松	4	4	1	0
盗	失併残	5	0	0	0
1	3	1	0	13	40
1	3	1	0	13	40

土浦三	打	安	点	振	球
⑧	飯島	4	0	0	0
④	出原	3	0	0	0
⑤	富田	1	0	0	0
③	井田	1	0	0	0
⑦	寺本	3	1	1	1
⑥	坂本	3	0	1	1
②	松山	3	1	0	0
①	平田	4	0	0	1
H	堀	2	1	0	1
1	井戸	1	0	0	0
⑨	荒森	0	0	0	0
盗	失併残	2	0	0	1
2	0	1	1	5	29

投手	回数	打	安	振	球	失
小林	9	34	4	5	3	2
山井	8	37	11	0	2	3
田荒	1	8	2	0	2	2

を得たが1点を返すにとどまった。

文道勝ち越し打
変化球対策実を結ぶ

①水海道一は五回に同点に追い付き、なお2死一、三塁、4番・文道翔(3年)が外角低めのスライターを捉え、左前に勝ち越し打を放った。変化球が打てず昨夏の大会はベンチに入れたかった。下半身を鍛えて打ち込むなどの変化球対策が実を結び、「打ってみたかった」と4番を6月中旬から任された。

この日3安打の活躍も、最終回の好機に内ゴロに倒れ、反省を口にした。苦手を克服した番は、次戦もチャンス確実に捉えるつもりだ。

水海道一・鈴木厚監督(48) 1点先制され、初戦の硬さが取れた3年生が力を出して

た。(小林は)過去最高のヒットを放った。

7月14日(木) 2回戦

水海道一 5-2 土浦三 (水戸市民球場)